

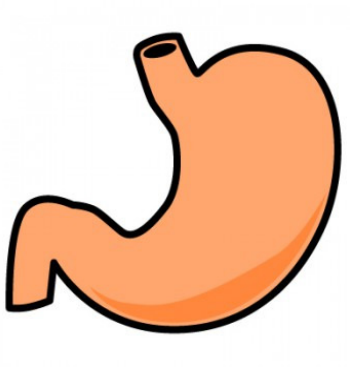
# 胃がん



松阪市マスコットキャラクター  
「ちゃちゃも」

## <病気について>

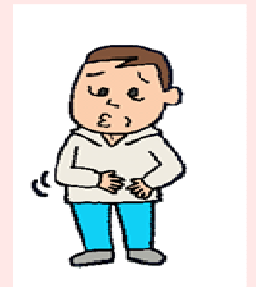
作成：医事課



胃がんは胃の粘膜に発生する悪性腫瘍です。これまでは悪性新生物の中で患者数・死亡数とも第1位でしたが、食生活の変化・検診の普及・治療の進歩により、死亡率は年々減少傾向にあります。しかし、厚生労働省の統計では2014年に悪性新生物で亡くなった方のうち、胃がんは男性で第2位、女性で第3位と依然として上位を占めています。

## <症状>

早期の段階ではほとんど症状がなく、内視鏡検査(胃カメラ)を受けたときに偶然発見されます。進行するとお腹の痛みや不快感、食欲低下、体重減少、貧血、黒っぽい便などを認めることがあります。症状のある方は早めに医療機関を受診していただくのは勿論のこと、早期発見のために定期的な検診を受けていただくことをお勧めします。



## <検査>

### 1. 胃透視

胃透視バリウムを飲んでレントゲン撮影を行う検査で、胃がん検診として広く普及しています。胃内の凹凸や形から異常の有無を調べる方法ですが、早期のがんでは見つかりにくいことがあります。

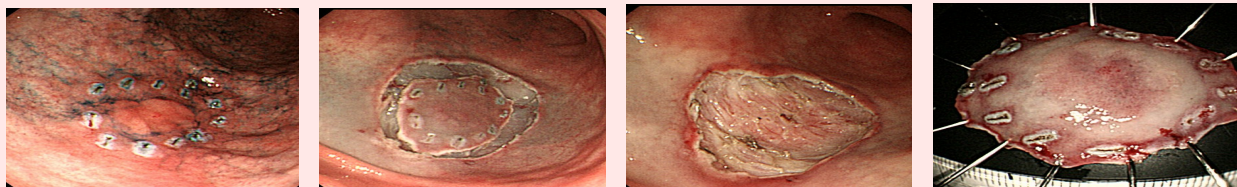
### 2. 内視鏡検査(胃カメラ)

内視鏡を口あるいは鼻から入れて観察する検査です。胃全体を直接観察できるため、早期のがんでも発見されることが多いです。また、がんが疑われる場合は小さな組織を採取(生検)して、顕微鏡検査で調べることができます。当院では内視鏡検査を受ける方の苦痛が少なくなるように、細い内視鏡を鼻から入れる経鼻内視鏡検査もできる体制を整えています。

## <治療>

### 1. 内視鏡治療

早期のがんの一部に行われます。以前はスネアというループ状のワイヤーで切除する方法(内視鏡的 粘膜切除術)が一般的でしたが、最近ではより確実な治療法として、高周波ナイフを用いて切除する方法(内視鏡的 粘膜下層剥離術)が行われることが多くなっています。



- ① 病変の周囲に印をつけます。(マーキング)
- ② 病変の周囲を高周波ナイフで切開します。(全周切開)
- ③ 病変の粘膜下層を剥がします。(剥離)
- ④ 病変が一括で切除されます。

### 2. 外科的治療

最も一般的な治療法で胃がんのある部分と周囲のリンパ節の切除を行います。以前は開腹手術が中心でしたが、技術や器具の進歩により、近年は腹腔鏡というカメラを用いて小さな傷で行う手術(腹腔鏡 下手術)が増えてきています。身体の負担が少なく、術後の回復が速いという利点があり、当院でも腹腔鏡 下手術を積極的に going to do.

### 3. 化学療法

抗がん剤による治療です。がん細胞がお腹の中や他の臓器(肝臓や肺など)へ広がった場合は内視鏡治療や外科的治療で完全に切除することが困難であり、化学療法が行われます。また、手術後の再発予防として行われることもあります。点滴によるものと内服によるものがありますが、いずれも血液の流れに乗って全身へ運ばれるため、広がったがん細胞にも効果があります。

## <入院費～概算～>

#### 内視鏡治療(8日間入院)

1割・2割負担の場合 44,400円(上限) 3割負担の場合 150,000円 前後

#### 腹腔鏡下手術(10～25日間入院)

1割・2割負担の場合 44,400円(上限) 3割負担の場合 450,000円～800,000円 前後

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

## <平成28年度当院データ> 胃がんで入院した患者数 112件

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、

医事課までお気軽にお尋ね下さい。

松阪市民病院